

ザ・ブルーーツオーケストラ

映画音楽とジャズ

結成79年の伝統を誇るビッグバンドが映画音楽とジャズを演奏。1946年に発足し、現在活躍中のビッグバンドの中で最も長い歴史と伝統を誇っており、黛敏郎、秋吉敏子ら数多くの著名な音楽家を輩出。70年芸太出身の森寿男が三代目リーダーを、20023年には岩崎敏信が四代目リーダーを引き継ぎ、カウントンベイシシ、デュークエリントンの精神とフイーリングを追求し続けた。1995年グリーン・ミラー・ウェステイバルに招聘され、本場アメリカでも大好評を博す。2004年「ジャズに情熱をかけた男たち ブルー・コーツの70年」が出版され、南里文雄に賞受賞。好評により再演決定。



Program

ヘンリー・マンシーニ／映画「ひまわり」より 愛のテーマ
 オスカー・ハマースタイン2世&リチャード・ロジャース／映画「Shall we ダンス?」より Shall We Dance?
 チャールズ・チャップリン／映画「ライムライト」より テリーのテーマ
 グレン・ミラー／映画「グレン・ミラー物語」回想（ムーンライト・セレナーデ、真珠の首飾り、I Know Why ほか）
 ルイ・プリマ／映画「ベニー・グッドマン物語」より シング・シング・シング ほか

Profile ザ・ブルーコーツオーケストラ *The Bluecoats Orchestra*

わが国で最も永い歴史を刻んでいるブルーコーツの原点は、1935年に結成された「スینگ・オルフェアンズ」が母体となっている。1946年に再結成された「スینگ・オルフェアンズ」は、1949年に「ブルーコーツオーケストラ」と名を改め、現在に至っている。その演奏には上品でアカデミックなサウンドが受け継がれていて、黛 敏郎、笈田敏夫、秋吉敏子等、数多くの著名音楽家を輩出している。1970年、芸大出身の森 寿男が三代目リーダーを引き継ぎ、新発足。2004年、森 寿男が南里文雄賞を受賞。それを記念して『ジャズに情熱をかけた男たち／ブルーコーツ70年』（瀬川昌久著）が出版

された。2010年11月、結成65年記念公演を日比谷公会堂で開催。記念アルバム発売。2019年3月、森 寿男が文化庁長官より表彰される。2021年、結成75周年公演を開催。2022年、岩崎敏信が四代目リーダーに就任。ビッグバンドの王道を行く幅広い活動を行っている。

Conductor: 岩崎敏信 Trumpet: 上石 統、谷殿明良、小松悠人、二宮孝裕
Trombone: 岩崎敏信、内田日富、小林 稔、渡辺 亮 Alto Sax: 今野菊治、松元啓祐
Tenor Sax: 内山正博、清水洋之助 Baritone Sax: 菊地 武
Piano: 池野美音 Bass: 小高正志 Drums: 阿野次男

2025 **7/31** **木** 18:30開演(18:00開場)

入場料：一般＝4.000円 子供＝2.500円(小学生以上高校生以下)

※子供券は日経公演事務局のみでの取り扱いとなります。

■ チケットセンター チケットぴあ <https://pia.jp/> (Pコード291-131)
 e+ (イープラス) <https://eplus.jp/>
 Confetti (カンフェティ) <https://confetti-web.com/> 050-3092-0051
 日経ショッヅ 03-6256-7682

一般販売開始
2月20日(木)

※チケットは全席指定・税込です。
 ※未就学児童のご入場はお断りします。
 ※やむを得ない事情により出演者・曲目などが変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

公式サイト <https://art.nikkei.com/muse/>

会場 **日経ホール** <https://www.nikkei-hall.com>

会場のご案内

【東京メトロ】
千代田線「大手町駅」神田橋方面改札より徒歩約2分
丸ノ内線「大手町駅」サンケイ前交差点方面改札より徒歩約5分
半蔵門線「大手町駅」皇居方面改札より徒歩約5分
東西線「大手町駅」西改札より徒歩約9分
「竹橋駅」4番出口より徒歩約2分
【都営地下鉄】三田線「大手町駅」大手町方面改札より徒歩約6分

無料巡回バス「丸の内シャトル」

「日経ビル」下車 詳しくは、バスナビをご覧ください。
<https://www.hinomaru-bus.co.jp/free-shuttle/marunouchi/>



日経ホール
〒100-8066 東京都千代田区大手町1-3-7 日経ビル 3階

お問い合わせ・申込◆日経公演事務局 TEL:03-5227-4227 (平日10:00-18:00)

なにげない感動をずっと。

FANCL